

不動産投資信託「J-REIT」

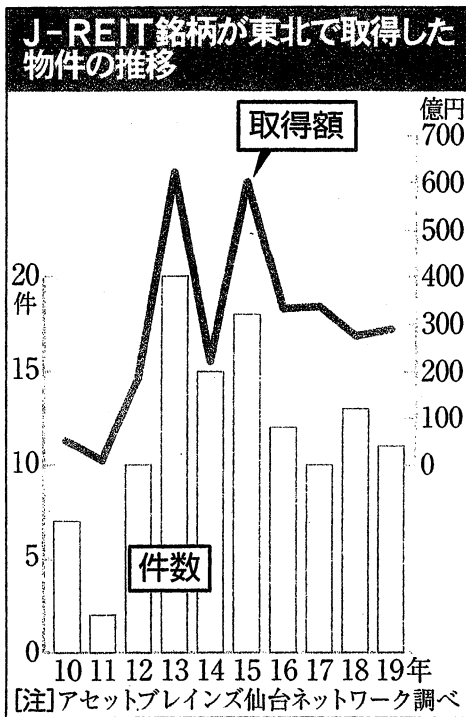
物件取得11件290億円

東北・19年仙台中心に活況

不動産投資信託「J-REIT(リート)」が2019年に取得した東北の物件数は11件、290億300万円だったことが、金融や不動産の専門家らでつくるアセットブレインズ仙台ネットワーク(仙台市)のまとめで分かった。通信販売の需要拡大による大型物流施設の取引など、仙台市を中心に活況だった。

東北での取得件数と総額の推移はグラフの通り。県別内訳は宮城9件(2008

億4000万円)、岩手2件(81億6300万円)と2県に集中した。用途別は住宅6件、ホテル2件、物流、商業、オフィス各1件だった。最高額は大型物流施設プロロシスパーク仙台泉2(仙台市)



で、日本プロロシスリート投資法人(東京)が92億5000万円で購入した。

J-REITが売却した東北の物件は13件の196億5300万円。最高額はイオン仙台中山店(仙台市)の99億2000万円。日本リテールファンド投資法人

(東京)が02年から所有していた信託受益権をイオンリテール(千葉市)に譲渡した。イオンリテールの担当者は取得の目的について「取引の詳細は差し控える」と述べた。

アセットブレインズの佐々木正之事務局長は「昨年度までの取引は活発だったが、新型コロナウイルスの影響で今後は様子見状態が続くだろう」と話した。

J-REITが92億円で取得した仙台市泉区の物流施設



J-REITは、東京証券取引所の上場銘柄。19年末で64ある。不動産会社や商社による投資法人が賃料などの収益を投資家への利回りに充てる。初上場した01年から累計物件数は19年末現在で4125件、資産総額は19兆1265億円に上る。東北は134件、3262億に上る。